

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1971600240		
法人名	社会福祉法人 八十八会		
事業所名	グループホーム南岳荘		
所在地	山梨県南アルプス市徳永436-1		
自己評価作成日	平成23年11月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成23年12月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

特に力を入れている点としては、個別ケアへの取り組みです。共同生活の中にあっても個々に好きなことをしていただきたい、行きたい所へ出かけていただきたいの思いから、ご家族にも協力いただきながら取り組みを続けています。また、体調管理にも力を入れています。専属の看護師はいませんが、提携先の診療所の看護師と密に連絡を取り合い、体調変化の早期発見・対応に努め、重度化をさせない努力をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

果樹地帯の中にあり、隣に南アルプス市の総合交流センターがある。法人の敷地内に特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護支援事業所があり、協体制が出来ている。平屋で2ユニットの広々とした日当たりの良い施設である。木目の床は安らぎを感じられる。何名かの利用者がいそいそと掃除や食器の片付・洗濯たみを行っていた。無尽や図書館に出かけたり、毎日散歩をする事の出来る元気な利用者と身体的に重度な利用者が一緒に生活している。全体として事務所内が落ち着いたのどかな雰囲気である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

事業所名 グループホーム南岳荘

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(あさがお)	ユニット名(コスモス)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着サービスとしての理念を作成したばかりです。職員に対しては月に一度開く会議の席で管理者のサービスについての思いを伝えていきたいと考えています。	地域密着サービスとしての理念を作成したばかりです。職員に対しては月に一度開く会議の席で管理者のサービスについての思いを伝えていきたいと考えています。	法人全体の理念とは別に管理者が3つの理念を作成したばかりである。縁あって一緒に働き人生の先輩である利用者を支えあっていく。仲良くそれぞれの力を発揮して欲しいという熱い思いが込められている。	3つの理念はまだ作成して間もなく、今後はこの理念に沿っての支援が出来る様にスタッフ会議や日々のケアの中で再確認しながら理念を共有、実践していける事を期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との日常的な交流はまだまだ進んでいない。しかしながら、地域で開催されるお祭りや、運動会へ参加したり、地域ボランティアの方に来ていただいたりと、少しずつではあるが交流を持つようになってきている。	地域との日常的な交流はまだまだ進んでいない。しかしながら、地域で開催されるお祭りや、運動会へ参加したり、地域ボランティアの方に来ていただいたりと、少しずつではあるが交流を持つようになってきている。	同一敷地内の事業所と合同の行事などを行い、その中で交流は多い。隣接するにある総合交流センターには気軽にしかけて行き、地域の人々と会う機会がある。	周囲の環境から地域との交流が難しいが、幼稚園児等の交流を企画するなどの支援に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実習生の受け入れを積極的に行い、出来る限りの協力をしている。地域に向けては、なかなか発信の場がなく、運営推進会議の場で勉強会や相談会等協力出来ることあればさせていただきたいと提案をさせてもらっている。	実習生の受け入れを積極的に行い、出来る限りの協力をしている。地域に向けては、なかなか発信の場がなく、運営推進会議の場で勉強会や相談会等協力出来ることあればさせていただきたいと提案をさせてもらっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の席では事業所からの報告等に対して委員の皆さんから質問、意見、要望等を伺い、サービス向上につなげるようにしている。	会議の席では事業所からの報告等に対して委員の皆さんから質問、意見、要望等を伺い、サービス向上につなげるようにしている。	会議の中で家族から「家族の交流会を持ちたい」という意見があり実施した。その中でおやつ作りをした事もある。また、職員の業務に対しての率直な指摘などは、真摯に受け止めてケアの向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	サービスについての疑問や判断に困ってしまう事柄が発生した際には市の担当者に相談しアドバイスをいただいている。	サービスについての疑問や判断に困ってしまう事柄が発生した際には市の担当者に相談しアドバイスをいただいている。	待機の希望者・後見人制度についての質問など気軽に相談している。また、市からは困難事例の受け入れや、地域包括支援センターからの問い合わせなどがある。市の施設部会に所属し、管理者が副部会長になっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に1回荘内で研修会を行なっている。職員は利用者様をさまざまな拘束により不快にさせないケアが出来るように取り組んでいる。ご家族には、契約時、身体拘束を行わないことを伝え、それに伴うリスクについての話をさせてもらっている。	年に1回荘内で研修会を行なっている。職員は利用者様をさまざまな拘束により不快にさせないケアが出来るように取り組んでいる。ご家族には、契約時、身体拘束を行わないことを伝え、それに伴うリスクについての話をさせてもらっている。	入浴介助時で職員が手薄になり落ち着かない利用者がある時には一時的に施錠しているとの話であった。2つのユニットが広く利用者が自由に行き来している為に施錠しても拘束感はない。言葉については表情を注意して話しかけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で繰り返し勉強する機会を持っている。管理者は職員の心身の様子を見聞きし、疲労やストレスが強まらないよう気をつけ、職員による虐待につながらないようにサポートしている。	内部研修で繰り返し勉強する機会を持っている。管理者は職員の心身の様子を見聞きし、疲労やストレスが強まらないよう気をつけ、職員による虐待につながらないようにサポートしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修受講者は、現在管理者のみです。現在成年後見人制度を活用されている方がいます。後見人の方と連絡を取り合いながら支援をしています。	研修受講者は、現在管理者のみです。別ユニットに制度を利用されている方がいます。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(あさがお)	ユニット名(コスモス)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、事前にご本人・ご家族と話し合いの時間を持ち説明をさせていただいています。書類等にも十分目を通していただけるだけの時間的余裕を持ち、不安や疑問点等にお答えしたうえで契約をさせていただいています。契約の改定等の際は、事前に書面でご案内した後、受付窓口を一本化し、納得していただけるよう説明している。	契約の際には、事前にご本人・ご家族と話し合いの時間を持ち説明をさせていただいています。書類等にも十分目を通していただけるだけの時間的余裕を持ち、不安や疑問点等にお答えしたうえで契約をさせていただいています。契約の改定等の際は、事前に書面でご案内した後、受付窓口を一本化し、納得していただけるよう説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様には、日頃の生活の様子の変化等に出るだけ早く気づくよう心がけ、声をかけ意見や希望などを話していただけるように努力しています。ご家族には、面会にいらした際や電話で話をさせていただき際に気軽に話をさせていただけるような雰囲気作りを心がけています。	利用者様には、日頃の生活の様子の変化等に出るだけ早く気づくよう心がけ、声をかけ意見や希望などを話していただけるように努力しています。ご家族には、面会にいらした際や電話で話をさせていただき際に気軽に話をさせていただけるような雰囲気作りを心がけています。	家族会の意見は運営推進会議で話し合い、結果は会議の議事録と共に全家族に郵送している。面会時は居室担当者が意識的に声かけしている。家族から「出来る事は手伝いたい。」という申し出もある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度スタッフ会議を行っており、その席上で各職員から意見等を聞くようにしています。提案や要望に対し速やかに対処出来る事柄から実現するように努力している。	月に一度スタッフ会議を行っており、その席上で各職員から意見等を聞くようにしています。提案や要望に対し速やかに対処出来る事柄から実現するように努力している。	備品の購入や修繕箇所の依頼は、気付いた職員がリーダーに報告し、リーダーより管理者に要求している。行事はレク係が中心に企画書を作成している。勤務は勤務表作成時に希望休が3日取得できる。重なって業務に支障が出る場合は話し合って融通し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境、条件の整備に努めている	管理者は、出来るだけ職員の仕事を把握する努力をしている。職員には長く勤めてもらい、利用者様となじみの関係を築いてもらいたいと願っています。少しでも働きやすい職場になるよう環境づくりに努めています。	管理者は、出来るだけ職員の仕事を把握する努力をしている。職員には長く勤めてもらい、利用者様となじみの関係を築いてもらいたいと願っています。少しでも働きやすい職場になるよう環境づくりに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部・内部で行われる研修に、積極的に参加出来るよう努めています。また資格取得を職員が目指せるよう、取得のを勧めたり、情報等の発信を行っている。	外部・内部で行われる研修に、積極的に参加出来るよう努めています。また資格取得を職員が目指せるよう、取得のを勧めたり、情報等の発信を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の事業所で交流会を持っており、勉強会や研修会を行っている。山梨県グループホーム協会の研修会にも参加し、県内のグループホームの職員さんとの交流の機会を設けています。	近隣の事業所で交流会を持っており、勉強会や研修会を行っている。山梨県グループホーム協会の研修会にも参加し、県内のグループホームの職員さんとの交流の機会を設けています。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所希望があった際は、事前に自宅等へ訪問し、ご本人と面談させていただいている。現在の生活の様子や今までの生活層等を伺い、スムーズに入所につながるよう努めています。	入所希望があった際は、事前に自宅等へ訪問し、ご本人と面談させていただいている。現在の生活の様子や今までの生活層等を伺い、スムーズに入所につながるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族がどのような経緯でサービスを利用されようと思われたのか、またどのようなサービスを望まれているのかをお伺いします。ホーム側からは、どのようなサービスを提供出来るのかを説明し、安心してサービスを受けていただけるよう努めています。	ご家族がどのような経緯でサービスを利用されようと思われたのか、またどのようなサービスを望まれているのかをお伺いします。ホーム側からは、どのようなサービスを提供出来るのかを説明し、安心してサービスを受けていただけるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前にいただいた情報から、必要なサービスの導入を試みます。状況等をご本人・ご家族に相談・確認しながら、ご希望に沿える支援を出来るだけ柔軟に行えるよう努めています。	事前にいただいた情報から、必要なサービスの導入を試みます。状況等をご本人・ご家族に相談・確認しながら、ご希望に沿える支援を出来るだけ柔軟に行えるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(あさがお)	ユニット名(コスモス)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者との対等の立場に立ってサービスを行うとの運営方針の下、ご本人の思いや、喜び、苦しみ、不安等を分かち合い日々暮らしの中で支え合う関係作りに努めています。	利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者との対等の立場に立ってサービスを行うとの運営方針の下、ご本人の思いや、喜び、苦しみ、不安等を分かち合い日々暮らしの中で支え合う関係作りに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が面会に来られた際には、利用者様の日頃の生活の様子等をお伝えし、利用者さまへのご家族の思いと、職員の思いが共有出来るよう努めています。また、利用者様にとってご家族の存在は何にも変えることが出来ない大切なことであることを折りに触れお話しさせていただいています。	ご家族が面会に来られた際には、利用者様の日頃の生活の様子等をお伝えし、利用者様へのご家族の思いと、職員の思いが共有出来るよう努めています。また、利用者様にとってご家族の存在は何にも変えることが出来ない大切なことであることを折りに触れお話しさせていただいています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から行きつけの、理髪店や美容院がある利用者様には継続して利用して貰えるよう支援しています。また、ご家族やお友達とのお出かけや食事会等、生活習慣的な行事も続けていただく支援にも努めています。	昔から行きつけの、理髪店や美容院がある利用者様には継続して利用して貰えるよう支援しています。また、ご家族やお友達とのお出かけや食事会等、生活習慣的な行事も続けていただく支援にも努めています。	今までの生活の継続で月1回友人と無尽に出かけたり、図書館に行く利用者もいる。俳句や短歌を作り全国大会に入賞した利用者や手紙をやり取りしている利用者もいる。電話は各居室に設置され、自由に家族と話が出来る。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が、楽しく会話や活動をする事が出来るような働きかけを職員がしている。また、個別にお話しをしたり、相談事をお聞きする時間取るように努めています。	利用者様同士が、楽しく会話や活動をする事が出来るような働きかけを職員がしている。また、個別にお話しをしたり、相談事をお聞きする時間取るように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族には、契約が終了した後も、何か力になれることがあれば相談していただけることをお伝えしています。	ご家族には、契約が終了した後も、何か力になれることがあれば相談していただけることをお伝えしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のケアの中で利用者様の思いや意向を把握しながら支援している。意思疎通が困難な方には、日々の情報やご本人の言葉や表情から推察したり、ご家族に相談したりと、可能な限り本人本位に近づけるように努力している。	日々のケアの中で利用者様の思いや意向を把握しながら支援している。意思疎通が困難な方には、日々の情報やご本人の言葉や表情から推察したり、ご家族に相談したりと、可能な限り本人本位に近づけるように努力している。	意思表示出来る利用者は多いが、困難な利用者には声かけを工夫し、本人の気持ちを汲み取っている。利用者同士のトラブルの中から本音を見出す時もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人のライフスタイル・個性や価値観等を尊重し、穏やかで居心地の良い暮らしが出来るよう、入所する前の暮らし等を、面談時のアセスメント等に確認し、職員が情報を共有している。	本人のライフスタイル・個性や価値観等を尊重し、穏やかで居心地の良い暮らしが出来るよう、入所する前の暮らし等を、面談時のアセスメント等に確認し、職員が情報を共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活状況を個々のケア記録に残し、職員全員が把握、確認出来るようにしている。特に体調変化、心理面・精神面の変化に注意し、現状の共有を図っている。	日々の生活状況を個々のケア記録に残し、職員全員が把握、確認出来るようにしている。特に体調変化、心理面・精神面の変化に注意し、現状の共有を図っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族には、日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、介護計画書の中に反映するように試みています。職員と定期的にカンファレンス(時間)を設けアセスメントをしています。が、現状計画書の見直しが追いついていません。	ご本人やご家族には、日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、介護計画書の中に反映するように試みています。職員と定期的にカンファレンス(時間)を設けアセスメントをしています。が、現状計画書の見直しが追いついていません。	リーダーが変わり、また職員の異動などにより、サービス担当者会議が定期的に開催されず、計画の見直しが遅れた。	適宜、介護計画を見直し、利用者がより良い生活を送ることが出来るよう支援を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(あさがお)	ユニット名(コスモス)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事・水分量・排泄等のチェックシートを使用し、日々の健康状態を把握しています。利用者様の变化や職員が気づいたことは、個々の記録に残し、スタッフ会議等の場でケアの見直し等の検討をしています。	食事・水分量・排泄等のチェックシートを使用し、日々の健康状態を把握しています。利用者様の变化や職員が気づいたことは、個々の記録に残し、スタッフ会議等の場でケアの見直し等の検討をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院や送迎は原則ご家族に対応していただいておりますが、緊急時やご家族の都合がつかない時は、職員が柔軟な対応をしています。また、車イスでも気軽に安心して外出出来るよう、車イス対応の車両の貸し出しも行っています。	通院や送迎は原則ご家族に対応していただいておりますが、緊急時やご家族の都合がつかない時は、職員が柔軟な対応をしています。また、車イスでも気軽に安心して外出出来るよう、車イス対応の車両の貸し出しも行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様に地域との交流を図っていただけるよう、ボランティアの受け入れをしています。来ていただくボランティアの内容も出来るだけ利用者さまと一緒に参加してもらえもの受け入れをしております。	利用者様に地域との交流を図っていただけるよう、ボランティアの受け入れをしています。来ていただくボランティアの内容も出来るだけ利用者さまと一緒に参加してもらえもの受け入れをしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族が希望される医師をお願いしている。基本的に、受診はご家族対応をお願いしているが、難しい場合には職員が対応をしている。必要に応じてホームでの様子や症状を医師に報告・相談し、アドバイスをいただいている。また、訪問治療(マッサージ他)等、複数の医療機関との連携を図っている。	ご本人やご家族が希望される医師をお願いしている。基本的に、受診はご家族対応をお願いしているが、難しい場合には職員が対応をしている。必要に応じてホームでの様子や症状を医師に報告・相談し、アドバイスをいただいている。また、訪問治療(マッサージ他)等、複数の医療機関との連携を図っている。	特定のかかりつけ医のいなかった利用者は、本人、家族より希望があれば、事業所の嘱託医にかかりつけ医となってもらっている。併設の特別養護老人ホームと協力体制が出来ており、薬は特養の看護師が管理している。また、1日1回看護師が健康相談に来ている。緊急時にも相談出来る。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様のちょっとした体調の変化などを見逃さない等、早期発見に努めています。併設の診療所の看護師に毎日健康チェック表の確認、内服薬の管理等の協力があり、利用者様の健康状態に合った支援をしています。また、緊急時は24時間看護師と連絡が取れ指示を貰える体制を取っています。	利用者様のちょっとした体調の変化などを見逃さない等、早期発見に努めています。併設の診療所の看護師に毎日健康チェック表の確認、内服薬の管理等の協力があり、利用者さまの健康状態に合った支援をしています。また、緊急時は24時間看護師と連絡が取れ指示を貰える体制を取っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ご本人への支援に関する情報を医療機関に提供。ご家族には、都度回復の状況を伺うようにしている。職員は可能な限りお見舞いに伺うようにして、入院中の不安等を少しでも軽減出来るよう努めている。退院時は、医療機関からの退院時情報を職員で共有し、支援に活かしている。	入院時には、ご本人への支援に関する情報を医療機関に提供。ご家族には、都度回復の状況を伺うようにしている。職員は可能な限りお見舞いに伺うようにして、入院中の不安等を少しでも軽減出来るよう努めている。退院時は、医療機関からの退院時情報を職員で共有し、支援に活かしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に向けての確固たる方針を検討している途中です。ご家族には、現段階では医療行為が常時必要になった場合には、グループホームでの生活の継続が出来ないとお話をさせていただいております。	終末期に向けての確固たる方針を検討している途中です。ご家族には、現段階では医療行為が常時必要になった場合には、グループホームでの生活の継続が出来ないとお話をさせていただいております。	家族には利用開始時に、今のところ最後まで看取りが出来ないことを説明している。法人としてはマニュアルの作成中である。医療行為のない要介護5の利用者も入居されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て、蘇生法の研修を定期的に行っている。緊急時の対応については、落ち着いた行動出来るようマニュアルを準備してある。定期的な訓練は現在出来ていないので、検討が必要。	消防署の協力を得て、蘇生法の研修を定期的に行っている。緊急時の対応については、落ち着いた行動出来るようマニュアルを準備してある。定期的な訓練は現在出来ていないので、検討が必要。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害マニュアルを作成、消防署の協力のもと、日中、夜間を想定した火災に対する避難訓練を年2回、また南岳荘独自で地震想定避難訓練を2ヶ月に1回、職員の緊急時伝達訓練を月に1回実施中。	災害マニュアルを作成、消防署の協力のもと、日中、夜間を想定した火災に対する避難訓練を年2回、また南岳荘独自で地震想定避難訓練を2ヶ月に1回、職員の緊急時伝達訓練を月に1回実施中。	建物は耐震構造で、IH調理器を使用し、火災報知機も設置済みである。マニュアルに従い火災・地震の訓練を実施している。各居室の入り口には避難時の利用者の移動手段が貼ってある。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(あさがお)	ユニット名(コスモス)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	荘内研修等で言葉による虐待もあることを学び、職員一人ひとりが言葉かけには注意をしている。	荘内研修等で言葉による虐待もあることを学び、職員一人ひとりが言葉かけには注意をしている。	一人ひとりの生活様式を知り対応したり、絵や書道などを飾っている。居室には声かけをして入っている。トイレは鍵があり、鍵を利用出来ている利用者もいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	定期的にパン販売やお菓子販売があり、希望される方がご自分で好きなものをお買い物できる機会があります。レクリエーションやイベントの参加も希望があれば参加してもらおうようにしています。また、レクリエーションの希望も出していたいただき、出来るだけ実行できるよう努めています	定期的にパン販売やお菓子販売があり、希望される方がご自分で好きなものをお買い物できる機会があります。レクリエーションやイベントの参加も希望があれば参加してもらおうようにしています。また、レクリエーションの希望も出していたいただき、出来るだけ実行できるよう努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、個室ならではのライフスタイルを尊重しています。散歩や、草取りなど入所前にご自宅で行われていたことを、出来るだけ希望に沿って継続的にしていただけるように支援しています。	基本的な一日の流れはありますが、個室ならではのライフスタイルを尊重しています。散歩や、草取りなど入所前にご自宅で行われていたことを、希望に沿って継続的にしていただけるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の身支度は、利用者様の希望に合わせて行っています。入浴時等、着替えをする際にはご本人の好みで洋服等を整えていただいています。職員に相談があった時には、一緒に選ばせていただいています。	日々の身支度は、利用者様の希望に合わせて行っています。入浴時等、着替えをする際にはご本人の好みで洋服等を整えていただいています。職員に相談があった時には、一緒に選ばせていただいています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご飯と味噌汁は数名の利用者様によっていただいています。毎日味噌汁の具材を楽しそうに選ばれたり、味の確認を嬉しそうに職員に頼まれたりしています。副菜の盛り付けや配膳、下膳、食器洗いや食器拭き、床清掃も複数の利用者様が積極的にしてくださっています。	ご飯と味噌汁は数名の利用者様によっていただいています。毎日味噌汁の具材を楽しそうに選ばれたり、味の確認を嬉しそうに職員に頼まれたりしています。副菜の盛り付けや配膳、下膳、食器洗いや食器拭き、床清掃も複数の利用者様が積極的にしてくださっています。	食事の準備や片付けは、数名の利用者が自分の役割と認めているよう生き生きと動いている。夏場は畑の野菜を使って、サラダ、つけ物等を作っている。「ご飯はいつも美味しいよ」と会話しながら食事していた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事・水分の摂取量や残存量を記録に残し、職員間で情報共有をしている。食事が少ない方には、好きな物を出来るだけ提供して食べていただけるようにしている。水分をあまり取れない方には、水分ゼリー等も利用して摂取していただくようにしている。体調等に応じて食事の形態等も臨機応変に対応している。	個々の食事・水分の摂取量や残存量を記録に残し、職員間で情報共有をしている。食事が少ない方には、好きな物を出来るだけ提供して食べていただけるようにしている。水分をあまり取れない方には、水分ゼリー等も利用して摂取していただくようにしている。体調等に応じて食事の形態等も臨機応変に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で出来る方には、出来るだけご自分でしていただいている。その際職員が見守りし、最後に確認をさせていただいている。時によって一部介助に入らせていただく。入れ歯を使用されている方には、毎晩入れ歯洗浄剤を使用し消毒を行っている。	ご自分で出来る方には、出来るだけご自分でしていただいている。その際職員が見守りし、最後に確認をさせていただいている。時によって一部介助に入らせていただく。入れ歯を使用されている方には、毎晩入れ歯洗浄剤を使用し消毒を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々のトイレ時のサインに注意しながら気持ちよく排泄していただけるよう支援している。また身体機能に応じたの介助、排泄用具(パット他)等も適時適切な方法で検討している。	排泄チェック表を活用し、個々のトイレ時のサインに注意しながら気持ちよく排泄していただけるよう支援している。また身体機能に応じたの介助、排泄用具(パット他)等も適時適切な方法で検討している。	排泄が自立出来ている人は8名おり、昼夜おむつ使用の利用者は1名である。トイレは4箇所あるがポータブルトイレを使用する利用者も多い。ドアを開けたままで使わないように注意している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬に頼らず、自然排便を促すような食べ物・飲み物の提供を心がけています。個人的に乳製品を購入されている方も多くいます。腸の動きを良くする為にも散歩等で体を動かしていただくことも試みしています。	出来るだけ薬に頼らず、自然排便を促すような食べ物・飲み物の提供を心がけています。個人的に乳製品を購入されている方も多くいます。腸の動きを良くする為にも散歩等で体を動かしていただくことも試みしています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(あさがお)	ユニット名(コスモス)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の手配で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	気持ちよく入浴していただけるよう、入浴剤を使用してみたりしています。その日のお湯の色や香りを利用者さまに決めていただいています。仲のよい利用者様同士で入浴していただくこともしています、会話をしながらゆっくりと入っていただきます。	気持ちよく入浴していただけるよう、入浴剤を使用してみたりしています。その日のお湯の色や香りを利用者さまに決めていただいています。仲のよい利用者様同士で入浴していただくこともしています、会話をしながらゆっくりと入っていただきます。	午後の入浴となっている。リフト浴槽もあり、利用者の状態に応じて使用している。入浴嫌いの利用者には足浴・清拭を試みるなどの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ日中に活動をしていただく働きかけをし、安眠につながるよう支援しています。個々の睡眠パターンを把握し、夜中の排泄介助が安眠の妨げにならないよう配慮しています。冬場は、全室加湿器を使用しますが、機械の音や光に敏感な方にはぬれタオル等で対応します。	出来るだけ日中に活動をしていただく働きかけをし、安眠につながるよう支援しています。個々の睡眠パターンを把握し、夜中の排泄介助が安眠の妨げにならないよう配慮しています。冬場は、全室加湿器を使用しますが、機械の音や光に敏感な方にはぬれタオル等で対応します。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のマニュアル、個々の処方箋の内容を職員が十分に理解し、把握出来るよう表と綴りにしていつでも確認できるようにしている。服薬はマニュアルに沿って職員が利用者様の名前、薬の確認、服用終了までを確認する。	服薬のマニュアル、個々の処方箋の内容を職員が十分に理解し、把握出来るよう表と綴りにしていつでも確認できるようにしている。服薬はマニュアルに沿って職員が利用者様の名前、薬の確認、服用終了までを確認する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割分担によって、本人の得意とする分野を發揮していただき、生きがいや張りのある生活を送ってもらえるよう職員が働きかけをしている。	役割分担によって、本人の得意とする分野を發揮していただき、生きがいや張りのある生活を送ってもらえるよう職員が働きかけをしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節を感じていただけるので、天気や利用者様の体調及び気分に応じて配慮しながらですが、散歩は積極的に行っています。春から夏には、ホームの菜園で野菜を作り、植え付け・水やり、草取り、収穫と進んで取り組まれました。また今年度は、ご家族のお力もお借りしてイチゴ狩りに初めて行かれ、とても喜ばれていました。	季節を感じていただけるので、天気や利用者様の体調及び気分に応じて配慮しながらですが、散歩は積極的に行っています。春から夏には、ホームの菜園で野菜を作り、植え付け・水やり、草取り、収穫と進んで取り組まれました。また今年度は、ご家族のお力もお借りしてイチゴ狩りに初めて行かれ、とても喜ばれていました。	天候の良い日は、ほぼ毎日近道を散歩している利用者が2～3名いる。行事・外出は、個別・複数のグループ毎、全体とさまざまなパターンで行なっている。美術館やバラの花の見学・さくらんぼ狩りなど季節感が味わえる外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理の出来る方には、その都度必要な時に、必要額をご自身の財布で所持していただき、近隣のお店に買い物に行かれ際ご自身で精算をしていただくようにしている。	自己管理の出来る方には、その都度必要な時に、必要額をご自身の財布で所持していただき、近隣のお店に買い物に行かれ際ご自身で精算をしていただくようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各お部屋に電話があり、自由に使用していただくことが出来ます。手紙は、年賀状や暑中見舞い等を出す支援をしています。	各お部屋に電話があり、自由に使用していただくことが出来ます。手紙は、年賀状や暑中見舞い等を出す支援をしています。利用者様の中には、幾度となく遠方のご家族と手紙のやり取りをされている方がいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアは季節を感じられるよう皆さんで作られたカレンダーや飾りで装飾をしています。また、書道の作品や外出や行事などで撮った写真も飾り話題づくりのきっかけになっています。畳スペースやソファがあり、お茶を飲む時など自由に使用してもらっています。	フロアは季節を感じられるよう皆さんで作られたカレンダーや飾りで装飾をしています。また、書道の作品や外出や行事などで撮った写真も飾り話題づくりのきっかけになっています。畳スペースやソファがあり、お茶を飲む時など自由に使用してもらっています。	フロアは広くゆったりとして、2つのユニットの境はなく利用者が自由に行き来しているので閉塞感はない。木目の床も安心感が持てる。4箇所のトイレも広く綺麗に掃除されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビで好きな相撲や娯楽番組を見て過ごしていただいたりしています。ご家族が来られた際には、居室でゆっくり過ごしていただいたり、ご家族が大勢の時には地域交流室等を自由に使用していただけるようにしています。	テレビで好きな相撲や娯楽番組を見て過ごしていただいたりしています。ご家族が来られた際には、居室でゆっくり過ごしていただいたり、ご家族が大勢の時には地域交流室等を自由に使用していただけるようにしています。		



自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(あさがお)	ユニット名(コスモス)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への愛用品の持ち込みは、危険な物でない限り自由にお持ちいただいています。ご本人が安心した生活を送れるよう、その方らしいお部屋になるよう支援しています。	居室への愛用品の持ち込みは、危険な物でない限り自由にお持ちいただいています。ご本人が安心した生活を送れるよう、その方らしいお部屋になるよう支援しています。	ベッドと電話・収納棚が用意されている。テレビ・ラジオ・仏壇・書籍類・カレンダー・飾り物などから一人一人の個性が感じられる部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁や廊下、またトイレ・浴室にも手すりが設置しており、歩行に少し不安のある方でも安心して歩いただけるような対策をしています。ホーム内には、平行棒を設置してあり日常のリハビリとして歩行訓練に使用しています。	壁や廊下、またトイレ・浴室にも手すりが設置しており、歩行に少し不安のある方でも安心して歩いただけるような対策をしています。ホーム内には、平行棒を設置してあり日常のリハビリとして歩行訓練に使用しています。		